

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成24年6月25日(月)午後2時30分～午後3時50分
- 2 場 所 伊東市役所 4階 中会議室
- 3 出席者 1番 杉田 純子君 2番 佐藤 潤一君
3番 田中 智海君 4番 上村 昌延君
5番 佐々木 誠君
- 4 参 与 教育部長 鶴田 政利 次長兼教育総務課長 鈴木 健支
教育指導課長 小田 靖久 幼児教育課長 泉 將好
生涯学習課長 堀井 裕三
- 5 書 記 教育総務課長補佐 村上 千明 主事 杉山 香織
- 6 会議の経過

委員長：ただ今から、伊東市教育委員会6月定例会を開会します。それでは、はじめに、教育長の報告をお願いします。

教育長：「6月教育委員会教育長報告事項資料」に基づき次の事項について報告がされた。

5月26日 小学生ふるさと教室開講式・農業体験

26日 ごみゼロ運動クリーン作戦

30日 八幡野幼稚園訪問

伊東市交通指導員定期総会

伊東地区防犯協会総会

伊東市文化協会総会

31日 伊東市小中学校教頭面談

6月 1日 平野万里元別荘見学

4日 第1回伊東市社会教育委員会

5日 伊東市小中学校校長面談

6日 池幼稚園訪問

7日 対島中学校訪問

13日 第13回静岡県市町対抗駅伝第1回伊東市実行委員会

14日 市議会6月定例会開会

24日 伊東子供お能教室修了証書授与式

その他

(1) 寄附 6月12日

空太郎会様 木下空太郎直筆掛け軸2幅(枇杷図、雀図)

委員長：ありがとうございました。ただ今の教育長報告について何か質問等がございますか。

(意見なし)

委員長：委員からの報告がありましたらお願いします。

(報告なし)

委員長：それでは本日の議事に入ります。

委員長：報告事項です。

教報第4号「平成25年度伊東市教育機関職員採用試験について」を議題といたします。説明をお願いします。

(鈴木次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

(意見なし)

委員長：次に移ります。

教報第5号「平成24年度夏季休業中における小中学校(園)幼児及び児童生徒の指導上の留意事項について」を議題といたします。説明をお願いします。

(小田教育指導課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

(意見なし)

委員長：次に移ります。

教報第6号「平成24年度夏季休業中における学校施設等の管理及び教職員の服務について」を議題といたします。説明をお願いします。

(小田教育指導課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

委員：夏休み中の登校日の設定はしているか。

小田教育指導課長：基本的に設定していないが、中学生については、2学期の体育祭・文化祭の準備や部活動等で多くの生徒が登校する。また、学級ごとに登校日を設定し、課題等の進捗状況を把握する機会を設け、個別の支援をしながら児童生徒の様子を確認することは、小中学校ともに行っている。

委員：休暇中に気持ちを切り替える機会を設けるのは好ましいことであり、教職員についても児童生徒の様子を確認する時間は必要である。

委員長：様子の気になる児童生徒とは家庭訪問や個人面談等をしているか。

小田教育指導課長：中学校については、学期末に保護者及び生徒と面談を行っている。小学校については、夏休み中に児童や保護者の教育相談に応じている。また、家庭訪問や暑中見舞い等で子どもの様子を伺うなど、状況に応じた対応をしている。

教育長：学校には教育相談の日常化を呼びかけている。

委員：教育相談をする保護者は多いか。

小田教育指導課長：中学生については、基本的に全員の保護者で行っている。小学校についても、実施している学校については全員の保護者で行っている。

委員：家庭訪問は県下すべての教育委員会で実施しているのか。

教育長：決まりはないが、伊東市ではすべての家庭に行っている。

委員：日程や時間が合わない場合には、メール相談などを行っているか。

小田教育指導課長：問題が起こる可能性があるため、行っていない。直に話をしている。

委員：夏休みを境に、不登校の始まり又は終わりとなることが多い。重点的に指導してほしい。

教育長：不登校又はそのおそれのある児童生徒については、夏休みの終わりには、家庭訪問や電話等で連絡をとるなどして、対策している。不登校については、23年度は減少し、24年度も減少する見込みである。

委員長：他になにかございますか。

(意見なし)

委員長：以上で教議事項は終了です。次はその他です。

「市議会6月定例会の報告についてのうち一般質問について」を議題とします。
説明をお願いします。

(鶴田教育部長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

(意見なし)

委員長：次に移ります。

「補正予算について」を議題とします。説明をお願いします。

(鶴田教育部長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

委員長：保育料の滞納整理のため、雇用するのは今年だけか。

鶴田教育部長：滞納整理で雇用するのは今年が初めてとなる。今までも通常業務と並行し、職員が対応してきたが、専任する者がいれば成果に期待が持てる。

委員長：よろしいでしょうか。その他で何かございますか。

堀井生涯学習課長：「小学生の船」は55人の申込みがあり、抽選で50人の参加が決定した。「市民大学」は応募者107人に対し、5講座で101人が受講決定となった。子育て講座は応募者10人全員が受講となった。「伊東市あいさつ運動市民一斉活動」の第1回目を7月2日に行うため、関係各所に協力をお願いしているところである。「人権教育地域指導者研修会」を8月6日に開催するため、可能な限り出席を願いたい。

委員長：その他、何かございますか。

委員：保育園と幼稚園の差をなくすことについてはどう考えるか。

教育長：保育園も幼稚園も基本的に教育の場であることを再認識し、保幼小連携プログラムの再確認をすることで、その後の不登校問題の改善や、学力の向上につなげていきたい。

委員長：保育園と幼稚園では、小学校に入学した際に違いは出るか。

小田教育指導課長：ほとんどない。すべての小学校で、保幼小の交流をしている。先生同士の情報交換を通じ、保育園・幼稚園の区別をせず、子ども全体を見ながら、足並みをそろえて教育するよう、連携を進めている。

教育長：幼稚園には教育要領、保育園には保育指針というものがあり、名称は違うが、内容はほとんどが同じものである。

委員：幼稚園からきた子どものほうが、落ち着きがあるという話を聞くため、保育園における指導の徹底を願いたい。また、小学校の先生が指導しきれていないという話も聞く。幼少期における教育をしっかりとしておくことで、子どもの将来に期待が持てると思うので、十分に指導していただきたい。

教育長：保幼小連携プログラムの中でも、我慢を育てるとするのは大きな課題である。

委員長：その他、何かございますか。

（意見なし）

意見も無いようですので、本日の審議事項は、以上を持ちまして終了します。

委員長：今後の日程について確認します。

7月定例会につきましては、7月24日（火）午後2時30分から、4階中会議室

8月定例会につきましては、8月22日（水）午後2時30分から、4階中会議室

委員長：ご苦労さまでした。以上で伊東市教育委員会6月定例会を終了します。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

委員長 杉田 純子

委員 田中 智海

書記 杉山 香織